vinetur

中国の白酒生産量、10月は8.1%減

中国の白酒生産量は10月に23万9,000キロリットルとなり、市場低迷を受けた供給調整のなか、年初来では4.3%減少した。

2026年11月20日（金）



中国の白酒生産量は10月、前年同月比8.1%減少した。市場の低迷を受けてメーカーが供給調整を続けるなか、伝統的な穀物蒸留酒の生産減少が続いている。

上海の工業情報会社SteelHome Information Technologyが11月18日（水）に公表した主要工業製品のデータによると、10月の生産量は23万9,000キロリットルだった。同社はこの数値の出典を中国国家統計局としている。1～10月の白酒生産量は合計259万2,000キロリットルで、前年同期比4.3%減となった。

この数値は、世界最大の白酒市場である中国で、工業生産ベースの白酒生産が引き続き縮小していることを示している。白酒は穀物を原料とする蒸留酒で、中国の飲料産業の中核を担う。需要は大衆向け商品から、会食や贈答、社交の場で用いられる高級ブランドまで幅広い。

10月の減少率は、年初から10カ月間の累計減少率を上回った。両者の差は3.8ポイントだった。ただし、この差だけでは、9月から減少が加速したとは言えない。公表資料には、前月との比較に直接使える絶対値の基準や、同じリリース内の月別データが示されていないためだ。

生産量は、アルコール度数65％に標準化した製品のキロリットル数で示されており、販売時の度数で瓶詰めされた小売数量ではない。この違いは重要だ。統計系列が計測するのは、店頭に並ぶ最終製品の瓶数ではなく、標準化した基準による物理的な生産量だからである。また、この系列の対象は中国の公式統計の範囲に含まれる工業企業であり、小規模生産や職人的な生産のすべてを網羅するものではない。

中国の国家統計局は、同国の統計制度を統括する機関であり、この統計系列の出典として明記されている。2004年創業の上海を拠点とする工業情報会社SteelHomeは、化学工業ポータルにこの表を転載した。11月18日という日付はSteelHomeによるデータ掲載日を指しており、確認した資料では、国家統計局が別途、一次情報を直接公表した日付として確認されたものではない。

こうした制約はあるものの、今回の数値は白酒業界が調整局面にあることを示す兆候に加わる。工業生産の減少には、販売見通しの悪化、メーカーによる在庫管理、商品構成の変化、流通業者の慎重な発注など、複数の要因が反映され得る。公表データは省別、価格帯別、企業別の内訳を示していないため、減少が低価格帯の商品、高級ブランド、特定の生産地域のいずれに集中したのかは分からない。

10月までの累計減少率が4.3％だったことから、減少は単月に限られていないことがうかがえる。一方、1〜10月の減少率が10月単月の数値より小さいことは、2026年の10月以前の各月が、平均すると10月ほど落ち込んでいなかったことを示している。ただし、同じリリースに月別の全データがないため、前月からの変化の正確なペースについて確かな判断を下すことはできない。

中国の酒類市場を分析する関係者にとって、今回の生産統計は、国内供給の動向を蒸留酒やその他の酒類の輸入を含む貿易の流れと比較するための新たな基準となる。白酒の生産量は公式統計の対象となる工業企業の範囲内で計測されるため、この数値は国内で生産された全量ではなく、大規模な規制対象メーカーの動向を示す指標として最も有用だ。